

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市制施行70周年記念事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系			根拠法令計画など	なし	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="29"/> 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		市民参画・市民協働			
施策	1	市民参画・市民協働の推進			
基本事業	1	市民参画と協働の意識醸成と体制づくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民の皆さん						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市制施行70周年の節目(平成29年5月15日)を市民全体でお祝いし、地域の発展に貢献されてきた方々に感謝と敬意を持って、これまでの歩みを見つめ直し、鳴門市への愛着と誇りを高める。また、市民に市政への参画意欲を抱いていただき、鳴門市の魅力を再発見・再認識できる契機とする。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	(1)市制施行70周年記念式典 (2)特別事業(新規・単発イベント) (3)冠事業(既存イベント) (4)PR事業						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		70周年記念事業の実施		事業実施				

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	(1)市制施行70周年記念式典を市文化会館で実施した。 (2)特別事業として、市文化会館で落語家「桂文枝」さんの創作落語等を実施した。 (3)冠事業として、市や市民等が行うイベントに冠をつけ、内容の充実を行うとともに、市民の方に市制施行70周年の周知を図った。 (4)70周年記念パンフレットの配布や、市公式ウェブサイト70周年特設ページを設けるなど、市制施行70周年のPRを行った。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標	1						
	2						
成果指標	70周年記念事業の実施		事業実施	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況		-			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	400	0	0	0	1,985	2,385
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	400	0	0	0	1,985	2,385
		決算額	300	0	0	0	1,940	2,240
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		1.0	0.0		7,234		9,474	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費		2,240			
	うち一般財源		1,940			
	人件費		7,234			
	総事業費		9,474			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	各事業の実施により、市民の方に市制施行70周年を認知していただくとともに、市への愛着や市政への参加意欲を醸成することができたことからA評価とした。
	効率性	A:効率的だった	効率的に事務を執行できたことからA評価とした。
②成果に対する評価	指標名	70周年記念事業の実施	当初予定していた事業を実施することができたことからA評価とした。
	目標	事業実施	
	実績	事業実施	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	上記①、②を踏まえA評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度				
	H31年度				